

【山崎主宰の俳句】

愚駄愚駄

山崎 聰

語り部の語りはじめは甲斐の柿  
平家赤源氏白旗村まつり  
台風のうしろを行きぬ下駄はいて  
この世いま愚駄愚駄愚図と秋の長雨  
靴下の穴を見ている十三夜  
今生を鬼の来ぬ間の谿紅葉  
能因の風とももみじかつ散りぬ  
みんなさかなになっいて豊の秋  
百万のもみじ百戸の隠れ谷  
たましいのところどころの冬景色